

あとがき

本町がキャリア教育に取り組んで9年目となる。

中央教育審議会の答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」が平成23年1月31日に出された。幼児期の教育から高等教育までを通したキャリア教育・職業教育の在り方を認めた答申は、過去に例を見ないものであった。

平成24年4月に松本市郎教育長が就任して、本町のキャリア教育が幕を開ける。平成25年には、高野小学校で児童主体の教育実践が行われるなど、教育長のリーダーシップで、各校がキャリア教育について理解を深め、特色ある実践が行われるようになる。



【小・中で交流する砂遊び】

平成26年には、第1回の「チャレキッズ」が行われ、平成27年には、社川小学校で「キャリアノート」高野小学校で「夢ファイル」など、キャリアパスポートの先駆けとなる取組が行われ、平成28年に「第1回キャリア教育シンポジウム」が開催された。

同年11月に第1回が実施された「キャリア教育意識調査」は、平成29年から年2回実施されるようになり、同年には、「第11回キャリア教育優良教育委員会」として文部科学大臣から表彰された。

ここまでの成果を粗くまとめると、次のようになる。

- 小学校における職業体験学習「チャレキッズ」を開催し、職業に対する体験や地元企業に対する理解を深めたこと。
- 児童の主体的な活動を重視し、児童の実態に応じた様々な体験活動に力を入れてきたこと。
- 4つの基礎的・汎用的能力を具体化した「キャリア教育意識調査」を実施し、キャリア教育のアウトカム評価により資質・能力を育成してきたこと。
- 従来のPDCAにRVを加え、R（リサーチ）、V（ビジョン）を重視したRV PDCAの棚倉型サイクル学習に基づく自己マネジメント力を育成してきたこと。
- 幼稚園において、キャリア教育を推進し、4つの基礎的・汎用的能力と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をすり合わせ、資質・能力を育成してきたこと。

これらの成果を継承、発展させ、幼・小・中・高でつながりを持ったキャリア教育を推進し、夢をつむぎ志を育み、持続可能な地域の担い手を育成していきたいと考える。

これまで適切にご指導・ご助言をいただいていた関係各位に心より御礼申し上げ、引き続きのご指導をお願いして、結びとしたい。

令和3年 3月吉日

棚倉町学力向上推進委員会 事務局